

signature

date

TARGET: Feb, Jun 2024

直前演習 -1

問1)

P社は、×1年3月31日にS社の発行済議決権株式（2,000株）のうち、60%（1,200株）を980,000円で取得し、支配を獲得した。×1年3月31日現在におけるS社の財政状態と、×2年3月31日現在におけるS社の貸借対照表は次のとおりである。なお、のれんは計上年度の翌年から20年間で均等償却を行う。これらの事項にもとづいて、以下の問いに答えなさい。

×1年3月31日現在におけるS社の財政状態

諸資産	諸負債	資本金	利益剰余金
2,000,000円	500,000円	1,000,000円	500,000円

S社の諸資産、諸負債の時価は簿価と一致している。

貸借対照表  
×2年3月31日  
(単位：円)

資産	S社	負債・純資産	S社
諸資産	4,500,000	諸負債	900,000
		資本金	3,000,000
		利益剰余金	600,000
	4,500,000		4,500,000

×1年度にS社は配当を行っていない。

【設問1】

当期末にS社が時価発行増資を行い、新株式2,000株を1株あたり1,000円で発行し、全額を資本金とした。P社はそのうち1,200株を取得した場合の時価発行増資にともなう連結修正仕訳を示しなさい。なお、勘定科目は下記の〈語群〉から選ぶこと。

〈語群〉

資本金当期変動額 ・ 資本剰余金当期変動額 ・ 利益剰余金当期変動額 ・ S社株式 ・ のれん ・ 非支配株主持分当期変動額

【設問2】

当期末にS社が時価発行増資を行い、新株式2,000株を1株あたり1,000円で発行し、全額を資本金とした。P社はそのうち1,400株を取得することにより、増資後の持分比率は65%に増加した。なお、増資直後のS社の純資産額は3,600,000円であった。よって、時価発行増資にともなう連結修正仕訳を示しなさい。なお、勘定科目は上記の〈語群〉から選ぶこと。

【設問3】

当期末にS社が時価発行増資を行い、新株式2,000株を1株あたり1,000円で発行し、全額を資本金とした。P社はそのうち1,000株を取得することにより、増資後の持分比率は55%に減少した。なお、増資直後のS社の純資産額は3,600,000円であった。よって、時価発行増資にともなう連結修正仕訳を示しなさい。なお、勘定科目は上記の〈語群〉から選ぶこと。

解1)

【設問1】

(単位：円)

借方		貸方	

【設問2】

(単位：円)

借方		貸方	

【設問3】

(単位：円)

借方		貸方	